

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 21 日

福岡県知事 殿

提出者

福岡県糟屋郡粕屋町大字仲原 2 6 4 8 番地

住 所

麻生コンクリート工業株式会社

氏 名

代表取締役社長 後藤英司

電話番号 092-621-1134

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

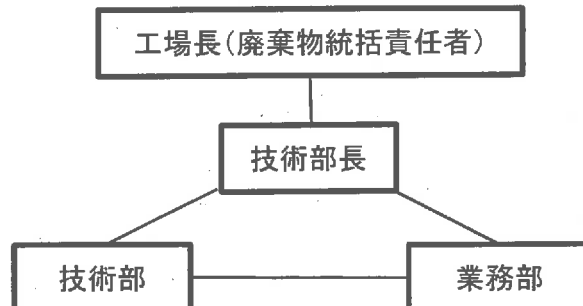
事業場の名称	麻生コンクリート工業株式会社
事業場の所在地	福岡県糟屋郡粕屋町大字仲原 2 6 4 8 番地
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E. 製造業
② 事業の規模	製造品出荷量：41,889m <sup>3</sup>
③ 従業員数	17人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	①ガラスくず等（コンクリートくず） 発生 → 運搬収集業者委託 → 処分業者委託 → 路盤材等に再生 ②汚泥 発生 → 運搬収集業者委託 → 処分業者委託 → 焼成等 発生 → （自車輸送） → 処分業者委託 → 路盤材等に再生 ③安定型混合廃棄物（紙くず、木くず、廃プラスチック、金属くず） 発生 → 運搬収集業者委託 → 処分業者委託 → 破碎、リサイクル

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和 6年度）実績】		
産業廃棄物の種類	ガラスくず等（石綿含有）	汚泥
排出量	2,844 t	544 t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
排出量	13 t	t
産業廃棄物の種類		
排出量	t	t
産業廃棄物の種類		
排出量	t	t
産業廃棄物の種類		
排出量	t	t
産業廃棄物の種類		
排出量	t	t
（これまでに実施した取組） ・顧客との連絡を密に取り、余分な注文による残コンクリートの発生を少なくする。		

②計画

【目標】		
産業廃棄物の種類	ガラスくず等（石綿含有）	汚泥
排出量	2,700 t	500 t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
排出量	13 t	t
産業廃棄物の種類		
排出量	t	t
産業廃棄物の種類		
排出量	t	t
産業廃棄物の種類		
排出量	t	t
産業廃棄物の種類		
排出量	t	t
（今後実施する予定の取組） ・顧客に余剰発注とにならないように願います。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）  
 ・産業廃棄物の種類ごとに仕切りを作り分別して保管。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）  
 ・上記取り組みを引き続き実施。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和 6 年度）実績】		
産業廃棄物の種類	ガラスくず等（石綿含有）	汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) ・なし		

②計画

【目標】		
産業廃棄物の種類	ガラスくず等（石綿含有）	汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等（石綿含有）	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組) ・なし			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等（石綿含有）	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組) ・なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 6年度）実績】		
産業廃棄物の種類	ガラスくず等（石綿含有）	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) ・なし		

②計画

【目標】		
産業廃棄物の種類	ガラスくず等（石綿含有）	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

①現状	【前年度 ( 6年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等 (石綿含有)	汚泥
	全 処 理 委 託 量	2,844 t	544 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2,844 t	456 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2,844 t	456 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	安定型混合廃棄物	
	全 処 理 委 託 量	13 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	13 t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	
(これまでに実施した取組) ・なし			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等 (石綿含有)	汚泥
	全 処 理 委 託 量	2,700 t	500 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2,700 t	500 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2,700 t	500 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	安定型混合廃棄物	
	全 処 理 委 託 量	13 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	13 t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	
(今後実施する予定の取組) ・なし			